

金澤北ロータリークラブ



金沢大学門前町シンボルモニュメント

小松暁一（こまつ・りょういち） 1932年(昭和7年)～

金沢市に生れる。昭和29年金沢美大油画専攻卒業後上京、豊口克平氏にデザイン指導を受ける。以後環境デザイン領域を中心に活動。主な制作…金沢市東部斎場内部デザイン監修、梅の橋デザイン、金沢市体育館、石川県立看護大学モニュメント制作等。現在、日本インテリア学会理事、石川県デザインセンター副理事長、金沢卯辰山工芸工房館長、金沢美術工芸大学名誉教授。

「戦争のはざまに」

ガバナー補佐 荒川 宏



「北京カイコウ塾」今で言う日中友好の目的で集められた学生達でした。ですから年齢もまちまちで私は若いほうでした。今日話させていただくのは、そこで学んだ事で、今でも記憶にある事をほんのひとつ、ふたつ申し上げたいと思います。

1894年（明治27年）日清戦争、それから三国干渉がありまして、その次に北清事変が1900年（明治33年）にありまして、日露戦争がその4年後にありました。それから日韓併合、満州におけるいろんな争奪戦がありまして、そして第一次世界大戦を経まして太平洋戦争に突入していったわけでございます。

その北清事変ということについてちょっと触れさせていただきます。これはひとつの変わった宗教の団体が清国を助けて、侵略国を滅ぼそう、対抗しようということで起きた暴動のようなものです。清国からいうと愛国の人々が立ち上がって、さんざん侵略してきた国々に抵抗するのです。ひそかに西太后も内々の勅令を出して陰ながら、奨励されていた。これが義和団事件です。なぜ「義和団」と申しますかと言いますと、いわゆる拳法「義和拳」をやっている団体だったのです。

実はこの事を取り上げたのは、これが中国だけでなく世界各国や日本に大きな影響を与えております。

初め天津で義和団が蜂起して、在住の世界各国の人々が非常に危険な状態でした。そして派遣された日本軍の働きが非常に際立っておりまして。北京の公使館区域にたくさんの外国人（日本人も含む）がおったわけですが、そこで惨殺事件が起きました。ドイツの公使と若い日本の外務省の書記官が殺された。それにより各国とも北京の公使館区域を何とか守らなくてはということで、8カ国ぐらいの軍隊が入り込んでいた。そこで日本の軍隊が活躍して救出をした。それで義和団はほとんど壊滅状態になりました。

そこで北京をいくつかの区域に分けまして、軍隊が管理したわけです。その時イギリス、アメリカが管轄したところは比較的良かったが、フランス、特にロシアが管轄したところが非常に乱れまして、その区域の各国民の保護をしないといけない軍隊が非常に暴虐の限りをやりまして略奪、暴行、強姦ということをやっていたわけです。

確かその時の北京の市長がイギリスの公使のところに来まして、ロシアが管轄している区域の人達を日本が管轄している地域に移してくれないかということをお願いしていたということが記録に残っております。

天津にいる各国の軍隊は、日本の軍隊が大変に変わった軍隊で、占領して敵を排除しているのに自分らが占領区域の市民を守っているといういわれもした。この事が日英同盟がイギリスのほうから是非ともということで結ばれたのです。

そして3年後に起る、日露戦争でアメリカのルーズベルト大統領が義和団事件で示した日本軍の態度に非常に感銘しまして、それで非常に日本びいきになり、ロシアのズルサが日露戦争になったとして、アメリカも非常に日本を援助した。ルーズベルト大統領は、その時日本政府から派遣されていた金子大使とハーバード大学で同級生ということもありまして、戦争が始まってから日本の軍隊は連戦連勝で非常に勇敢である評価がどんどん上がっているのはなぜか、かつて義和団事件で軍規厳正で勇敢な軍隊だと聞いているが、原因はどこにあるんだろうと、興味をもった。そこで金子大使は「それは日本には武士道がある」と、新渡戸稲造博士の「武士道」という本を渡し、これをルーズベルトは大変感心し、「アメリカの軍部の幹部や私の子供たちにも、これを読んで勉強するように」と言っただけだった。

又、日清戦争時代で3千万人の人口は、その後30年にして6千万人に倍増し、年に百万人近い人口増加があった。この莫大な人口をいかにして養うかが日本の国策であり、海外移民の為朝鮮や台湾を特に開発し、さらに満州に手を広げた。

ルーズベルトの調停で終わった日露戦争の終戦以来、あれだけ日本を賛美しバルチック艦隊を撃滅した時に「パンザイ」と電報をしてきた人が、どうも日本は強すぎて、将来米国の一番の脅威になると言い始めて、それから日本とアメリカの関係が少しづつおかしくなってきました。ハリマンという鉄道王を指示して、満州鉄道の妨害をしようという動きがでてきたことによって満州事変が起った。

日本には資源がないので中国に期待をかけた。製鉄用のカイラン炭田の強粘性の石炭、カンヨウの製鉄所、ダイヤの鉄山、ヒュウキョウの炭坑などは、非常に欲しかった。

もう一つ日本には綿がなかった。中国に綿花はいくらでもあった。そんなことで日本の軍隊や商社が中国に買い付けに行っていたが、中国の綿は細くて日本の織機に掛からない品質の悪いものだった。また羊毛も毛が良くなかった。綿花はアメリカ産が一番良質であるし、羊毛はオーストラリア産が良かった。

満鉄の調査部や日本の会社（特に財閥家）が中国に膨大な情報網を持っていたが、資源を求めて大陸に行った割にはなんと資源に対する調査が十分にいつてなかったという感じを持ちました。

色々話しましたが、当時の状況から歴史上の戦争にいたることになるのです。

（文責：荒屋克己）

“ウイハヨ wihayoe ロータリー” No.1 渡邊 聰



「ウイハヨ」

“ウイハヨ”とは韓国語で、直訳すれば「…の為に」という意味である。韓国の現代の若者達の間では「乾杯・万歳」と同意語として使われている。したがって“ロータリーウイハヨ”とグラスを上げて言えば「ロータリー乾杯」であり、両手を上げて言えば「ロータリー万歳」の意味となる。

この言葉を色々な場面を想定し、口の中で“…の為に、…の為に”と繰り返して反復してみると、寧ろ、乾杯（カンペイ）や万歳（マンセイ）よりも、意外にじっくりとその場面場面になじむように感じられる。万歳は勝利などを祝う喜びの勝鬨である。乾杯は発展や健康や幸福などを祝う、あるいは祈念する時に使われる場合が多い。もちろん両方に使用しても差し支えはない。

一方、ウイハヨ「…の為に」は「…の役に立つ、…をする」と言った約束や誓いの意味で、「…の応援をする」といった誓いをする宣誓、宣言の言葉である。

例えば、「〇〇君の幸せの為に…。〇〇君の勝利の為に…。」等と、そこに参加する人達全員が「〇〇君の役に立つぞ、応援するぞ」との気持ちのこもった誓いと応援の表現であり、やがて達成されるであろう勝利を確信して祝う。なんとなくほのぼのとした嬉しい気持ちにさせられる言葉である。残念ながら日本語にはこの様な意味で祝う言葉は見当たらない。強いて言うならば“頑張ろう”ぐらいではないだろうか。

「ロータリークラブは奉仕団体か」

早いもので、私が金沢北ロータリークラブに入会して今年の1月で13年目に入った。しかし、未だにロータリーを理解できない謎々の部分が数多くある。その多くある疑問の中でも、特に分らない点は“ロータリークラブは奉仕団体か否か”というロータリーの根源に関することである。

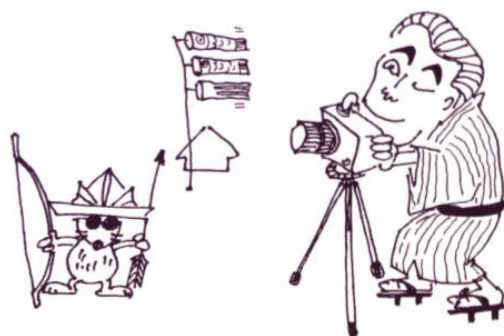
「今更、何を馬鹿なことを…」と、先輩諸氏からお叱りを受けることは火を見るより明かであるが、今の私は自信を持って“奉仕団体である”と言い切ることができそうにない。「あんまり難しく考えずに、もっと気楽に考えたらどうや…」との助言も頂くが、私がロータリークラブに入会した経緯とその想いは、少しではあるが、以前に「奉仕との出会い」の中で記述したように、赤十字社やその他の奉仕団体等の奉仕活動のあり方が、私の奉仕活動に対する考え方の根幹となっている。それらの奉仕団体とロータリーの奉仕活動との異差から生じる部分が、今もロータリーの奉仕がよく分らない一因となっている。

また、もう一つの要因は、入会してより今日まで「ロータリークラブはクラブ自体が奉仕をするものではなく、奉仕を志す人々の集まりであり、クラブはその人々に奉仕の機会を与え推進する所である」と教えられてきたことである。

本当に奉仕を志すならば、何もクラブから機会を与えられなくてもよいのではないか。個人奉仕を主眼とするならば、何も徒党を組む必要などないのではないか。マザーテレサのように個人奉仕が立場の弱い人々を助け、救う。それが素晴らしい奉仕活動へと大きな輪になって広がる。ロータリークラブが奉仕団体を標榜するのであればライオンズクラブのようにクラブ自体が奉仕の主体であつても何ら差し支えはないではないか、との疑問である。

その他にも“奉仕の理想”って何なんだとか、初歩的なことで色々と分らない事が多くある。しかし、これらの疑問を解く鍵はロータリーだけが持つ職業奉仕にあると思われるので、後で自分なりの考え方を記述し各位よりご批評を得て勉強して行きたいと思う。

過日、広報委員長より「最近ロータリーについて思うこと」と題して原稿依頼があった。しかし、現在の私は、まだまだ迷える小羊であり多くの疑問点を抱えているので、頂いたテーマに対してご期待に添うような意見を述べることはできないが、ただ、自分の勉強不足を棚上げし、斜眼的ではあるがロータリーについて自分なりに解釈していることを記述することでお許しを頂きたい。〈続く〉



4月27日

金沢RC 古丸君
1月に金沢RCに入会、初めてのメイクです。
中田(秀)君 京都洛北RC友好訪問35名、大勢の参加ありがとうございます。
佐藤君 先般京都洛北RC訪問に際し、中田友好委員長を始め、出席されました皆様方に大変お世話になりました。
玉田君 本日の北陸中日新聞に、当社の記事が掲載されました。
竹中君 とりあえず、事務所の引っ越しが終わりました。4月から新入社員も入り、新しい年度を迎えることができました。これから皆出席をめざします。
魚住君 野に山に花の季節になりました。娘の作品が北國新聞の花のワルツにのりましたので。
中谷君 誕生日においしいワインを頂きました。4月18日、元気で古稀を迎え、子供、孫15名が、「あえの風」で祝ってくれました。
合計 16,000円(累計 1,636,000円)

5月11日

長谷川君 鈴木先生、中村先生、魚住先生の春の御叙勲を心からお礼申し上げます。東京日本橋高嶋屋で、5月18日から24日まで個展をします。上京された折りにどうぞお立ち寄り下さい。ゆっくりお茶でも飲んで行って下さい。
田中君 魚住会員、中村会員、鈴木会員、叙勲を受けられおめでとうございます。長谷川年度の行事もあと一つとなりました。皆様多数のご参加をお待ちしております。
大村君 素晴らしい金沢北RC ①木下和吉会員の市議会議長

就任 ②魚住安彦会員の紫綬褒賞受賞 ③中村三次会員、鈴木透会員の春の叙勲受章 ④坂口幸市会員の文化庁長官賞受賞、それぞれ大変おめでとうございます。北ロータリーの誇りであります。

乙村君 今日は吉田富士夫先生の奥の深いお話しに拝聴します。魚住安彦さん、中村三次さん、鈴木透さん、一挙にお三方の受章、叙勲、当クラブにとっても嬉しいことです。
本江君、依君、佐藤君、渡邊君、松本君、瀧君、中谷君、五十里君、濱井君、本岡君
鈴木透先生、勲四等旭小綬章。中村三次様、勲四等瑞宝章。魚住安彦様、紫綬褒賞、誠にありがとうございます。北クラブの誉です。
大西君 1年間、色々ありがとうございました。今後共どうぞよろしく願います。
松本君 旅行同好会が発足しました。29名の多くの人に入会して頂き、ありがとうございました。年1回位の転地療養が必要の方は、是非!そうでない人も歓迎致します。
本江君 5月5日は、53回目の結婚記念日でした。
依君 5月2日は、私達の結婚記念日です。今のところ二人共元気です。
磯野(洋)君 うっかりしていました。結婚記念日の月でした。そう言えば、家内が何か物欲しそうでした。思い出させていただいて、ありがとう。
川崎君 本日(5/1)還暦を迎えました。
銭亀君 もう誰も気付かなくなった誕生日に、ワインが届き感激しました。ありがとうございました。
中塚君 結婚祝に感謝して
合計 57,000円(累計 1,693,000円)

第1308回例会

◆4月27日(木)はれ 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
「金沢のまちづくり」
金沢市都市政策部長 須野原 雄氏
- 出欠
出席47名 欠席27名 出席率63.51%
ビジター12名
- 来訪者(敬称略)
金沢RC 上垣内康夫 北川晶夫 古丸 健
渡辺勝美 水野卓哉 横山英勝
高松 弘
金沢東RC 大塚滋雄
金沢西RC 白川政二
金沢南RC 中谷啓一
香林坊RC 石村都喜雄
みなとRC 中谷宗統

第1309回例会

◆5月11日(木)はれ 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
「思いつくまに」
会員 吉田富士夫君
- 出欠
出席50名 欠席24名 出席率67.57%
ビジター11名
- 来訪者(敬称略)
金沢RC 渡辺勝美
金沢東RC 浦田 進 鶴賀秀一 嘉野幸太郎
金沢西RC 澤田幸社 作田 武
金沢南RC 辻 弘 新保弾次 三野 裕
香林坊RC 浦 亨
百万石RC 中村基克
- 幹事報告
○例会終了後 理事会開催

5. 皆出席顕彰(敬称略)
1カ年 大西 弘君

6. お誕生日祝(敬称略)
6日 越田和好 6日 銭亀賢治
11日 川崎 昇 15日 橋本和雄
18日 木村功一 22日 佃 一成
23日 松本範夫 25日 吉田富士夫
31日 森 大

7. ご結婚記念日祝(敬称略)
2日 磯野洋明 3日 依外代吉
3日 中塚康朗 5日 本江他美夫
5日 深山 彬 6日 米澤修一
7日 中谷栄治 13日 坪田良三
20日 川崎 昇 22日 平野 純
25日 竹中健次

4月クラブ日誌

6日(木) 4月定例理事会 松魚亭にて
次年度理事会 松魚亭にて
13日(木)~14日(金) 京都友好訪問
20日(木) 金沢北・百万石RC合同お花見例会 松魚亭にて

理事会報告

5月11日(木) 出席者16名
◆叙勲、褒賞受賞の件
魚住君、中村君、鈴木君の三名、5万円相当の作品をおくる。作品は、吉田、銭亀、長谷川の三会員に依頼するものとする。
◆主浜会員退会届
◆新会員の件
◆アンディ君(1997.8~1998.8年度交換学生)が5/14~5/31来沢、ホストをお受出来る方がいらっしゃれば、(一泊でも結構です)事務局まで、ご連絡下さい。

会長:長谷川 聖人 S A A:松平 敦實
会長エクゼ:本岡 三千郎 会 計:佐藤 正寿
副会長:合田 昌英 広報委員長:銭亀 賢治
幹 事:田中 廣明 会 員 数:77名
副幹事:畠 善昭 クラブ設立:昭和48年10月3日

例会日:木曜日 12:30~13:30
例会場:松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局:金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882

